

通所介護運営規程

社会福祉法人 福福会

社会福祉法人福福会

通所介護事業運営規程

(事業の目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人福福会が開設するデイサービスセンター「福福の里」（以下「事業所」と言う。）が行う通所介護事業（以下「事業」という。）について、その適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の管理者や職員が要介護状態にある高齢者に対して適正な通所介護サービスを提供することを目的とする。

(運営方針)

第2条 事業所の管理者及び職員は、利用者の心身の特性を踏まえて可能な限りその有する能力に応じた自立生活を営むことができる様、生活指導、日常動作訓練、入浴、食事等の介護を行い利用者及び家族の身体的、精神的負担の軽減を支援する。

(事業所の名称等)

第3条 通所介護事業を行う事業所の名称及び所在地は次の通りとする。

- | | | |
|-----|----------|---|
| (1) | 名 称 | デイサービスセンター福福の里 |
| (2) | 所在地 | 千葉県東金市極楽寺字松山163番1
通所介護事業施設 福福の里 (1階) |
| (3) | 介護保険指定番号 | 通所介護事業所 (1271801175号) |

(職員の職種、員数及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する職員の職種、員数及び職務内容は次の通りとする。

- | | | | |
|-----|-----------|------|---|
| (1) | 管理者 | 1名 | 管理者は事業所の職員の管理、業務の実施状況の把握、その他の管理を一元的に行う。 |
| (2) | 生活相談員 | 1名以上 | 生活相談員は、利用者の生活相談、処遇の企画、サービス計画等の立案、実施を行う。 |
| (3) | 介護職員 | 2名以上 | 介護職員は、利用者の日常生活全般に渡る介護業務を行う。 |
| (4) | 看護職員 | 1名以上 | 利用者の保健衛生並びに看護業務を行う。 |
| (5) | 栄養士 | 1名以上 | |
| (6) | 個別機能訓練指導員 | 1名以上 | (看護職員兼務)
日常生活を営むのに必要な機能を改善し、又はその減退を防止するための訓練を行う。 |

(営業日及び営業時間)

- 第5条 各年12月31日から1月3日除く月曜日から土曜日までとする。但し、緊急時においては、この限りではない。
- 2 営業時間…午前8時45分から午後5時45分までとする。
- 3 サービス提供時間…午前9時30分から午後4時45分までとする。
(送迎時間除く)

(利用定員)

- 第6条 事業所の利用定員は20名とする。

(通所介護の内容及び利用料、その他の費用)

- 第7条 介護内容は、生活指導、日常動作訓練、養護、健康チェック、送迎、入浴、食事サービスを行う。
- 2 通所介護を提供した場合の利用料は厚生労働大臣が定める基準によるものとし指定当該通所介護が法定代理受領サービスであるときは、その1割・2割・3割とする。
- 3 法定代理受領サービスに該当しない通所介護を提供する場合に、利用者から受ける利用料の額と、厚生労働大臣が定める基準により算定した費用との間に差額が生じないようにする。
※詳細は別紙参照
- 4 前項のほか、次に掲げる費用を徴収する。
- ① 通常の事業の営業時間外の利用については、別に定める料金表(1)によるものとする。
- ② 食費 実費相当
- ③ オムツ代 別に定める料金表(2)
- ④ 前条に掲げる介護以外のサービス利用に係る費用は、別途徴収するものとする。
- 5 前項に費用の額に係るサービスの提供に当たっては、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払いの同意を得る旨の文書に署名(記名押印)を受ける事とする。

(事業の実施区域)

- 第8条 通常の事業の実施区域は、次の通りとする。
- 東金市全域、八街市全域、山武市 旧山武町・旧成東町(姫島、早船、津辺)、千葉市若葉区(中野町)、千葉市緑区(上大和田町、下大和田町)、大網白里市(季美の森・東、南)とする。

(サービス利用に当たっての留意事項)

- 第9条 利用者は、他の利用者が適切なサービスの提供を受けるための権利、機会等を侵害してはならない。
- 2 利用者は、事業所の設備・備品等の使用に当たっては、本来の用法に従い使用する事とし、これに反した使用により事業所に損害が生じた場合は、賠償するものとする。
- 3 事業所は、利用者の重大な過失により、利用者の身体等に被った損害に対しては、賠償を免じることができるものとする。
- 4 その他この規定に定めるものの他、サービスの利用に関する事項については、

契約書及び重要事項説明書に明記し、利用者に説明するものとする。

(苦情処理)

- 第10条 利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、苦情受付窓口を設置するなどの必要な措置を講じる。
- 2 提供するサービス等に関して、市町村からの文書の提出・提示を求め、または市町村職員からの質問・照会に応じ、利用者からの苦情に関する調査に協力する。市町村から指導または助言を得た場合は、それに従い、必要な改善を行う。
 - 3 サービスに関する利用者からの苦情に関して、千葉県国民健康保険団体連合会の調査に協力するとともに、千葉県国民健康保険団体連合会からの指導または助言を得た場合は、それに従い、必要な改善を行う。

(緊急時等における対応方法)

- 第11条 利用者の病変、その他緊急事態が生じた場合は、速やかに主治医又は協力医療機関への連絡を行う等、必要な措置を講じる。

(事故発生時の対応)

- 第12条 サービスの提供により事故が発生した場合には、速やかに市町村、家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じる。
- 2 サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行う。但し、事業所の責に帰すべからざる事由による場合は、この限りではない。

(非常災害対応)

- 第13条 非常災害に備えて、必要な設備を設け、防災、避難に関する計画を作成する。
- 2 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う。

(緊急やむ得ない場合に身体的拘束等を行う際の手続き)

- 第14条 事業所はサービスの提供にあたり、利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束をその他の利用者の行動を制限する行為を行わない。
- 2 事業所は、前項の身体拘束を行う場合においては、当該事業所に設置された身体拘束廃止委員会のもと、定められた手続きにより行うものとする。

(虐待の防止のための措置に関する事項)

- 第15条 高齢者の人権意識や支援技術の向上及び、組織として、(安心・安全)な質の高い支援を提供する姿勢と、虐待防止のための措置を講じなければならない。
- (1) 運営規程への定めと職員への周知徹底。
 - (2) 責任者の選任と虐待防止委員会を設置する等の体制整備。(定期的に開催する)
 - (3) 倫理綱領・行動指針・掲示物記載と展示等の周知徹底。
 - (4) 人権擁護、虐待防止知識や技術向上のための研修の実施。
 - (5) 施設・事業所における虐待防止の責務。
 - (6) 虐待の発生を確認した場合は指針に従って対応を行う。

(感染症感染防止対策事項)

第16条 感染症拡大防止の観点から、日頃の健康管理に留意するとともに、感染防止対策に向けた取り組みを徹底し、以下のような感染防止に向けた対策を取り込む。

- (1) 事業所における感染対策の徹底を行う。
- (2) 感染症に備えた事前準備や協力医療機関（嘱託医）との連携体制の確保。
- (3) 感染者・濃厚接触者や疑わしき者が発生した場合の取り組み。
- (4) 情報共有・報告等の速やかな実施。
- (5) 消毒や清掃等の実施。
- (6) 感染症のリーダーの設置。

(その他運営についての留意事項)

第17条 事業所の職員は、業務上の知り得た利用者又は、その家族の秘密を漏らしてはならない。

- 2 職員であった者は、職員でなくなった後に於いても、業務上知り得た利用者又は、その家族の秘密を保持すべき旨の雇用契約とする。
- 3 この規定に定める事項の他、運営に関する重要事項は、社会福祉法人福福会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。
- 4 利用者の個人情報の保護は、個人情報保護法に基づき当事業所が得た利用者の個人情報については、当事業所での介護サービスの提供にかかる以外の利用は原則的に行わないものとし、外部への情報提供については、必要に応じて利用者またはその代理人の了承を得ることとする。
- 5 介護サービスの適正化・重点化を図ることにより、制度の安定性・持続可能性を確保する。

附 則

この規程は、平成 26 年 2 月 1 日から施行する。

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 元 年 5 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 元 年 10 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 3 年 6 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 7 年 3 月 21 日から施行する。

《別添資料》

(1) 通常事業の営業時間外の利用料金について

利用者の家族の都合により、デイサービス利用時間を延長した場合は別途指定居宅サービスの介護報酬をお支払いいただきます。

(2) おむつ代

利用者の身体の状態等により、おむつの利用が必要な場合に、事業所で用意するものをご利用いただく場合には実費相当お支払いいただきます。

通所型サービス事業所（介護予防通所介護相当サービス）
運営規程

社会福祉法人 福福会

社会福祉法人福福会

通所型サービス事業（介護予防通所介護相当サービス）運営規程

（事業の目的）

第1条 この規程は、社会福祉法人福福会が開設するデイサービスセンター「福福の里」（以下「事業所」という。）が行う通所型サービス（介護予防通所介護相当サービス）（以下「事業」という。）について、その適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業の管理者や職員が要支援状態にある高齢者に対して適切な通所型サービスを提供することを目的とする。

（運営方針）

第2条 事業所の管理者及び職員は、利用者の心身の特性を踏まえて可能な限りその有する能力に応じた自立生活を営むことができる様、生活指導、日常動作訓練、入浴、食事等の介護を行い利用者及び家族の身体的、精神的負担の軽減を支援する。

（事業所の名称等）

第3条 通所型サービス事業（介護予防通所介護相当サービス）を行う事業所の名称及び所在地は次の通りとする。

- (1) 名称 デイサービスセンター福福の里
- (2) 所在地 千葉県東金市極楽寺字松山163番1
通所介護事業施設福福の里（1階）
- (3) 介護保険指定番号 通所型サービス事業所（介護予防通所介護相当サービス）
（1271801175号）

（職員の職種、員数及び職務内容）

第4条 事業所に勤務する職員の職種、員数及び職務内容は次の通りとする。

- (1) 管理者 1名
管理者は事業所の職員の管理、業務の実施状況の把握、その他の管理を一元的に行う。
- (2) 生活相談員 1名以上
生活相談員は、利用者の生活相談、処遇の企画、サービス計画等の立案、実施を行う。
- (3) 介護職員 2名以上
介護職員は、利用者の日常生活全般に渡る介護業務を行う。
- (4) 看護職員 1名以上
利用者の保健衛生並びに看護業務を行う。
- (5) 栄養士 1名以上
- (6) 機能訓練指導員 1名以上（看護職員兼務）
日常生活を営むのに必要な機能を改善し、又はその減退を防止するための訓練を行う。

（営業日及び営業時間）

第5条 各年12月31日から1月3日除く月曜日から土曜日までとする。

但し、緊急時においては、この限りではない。

- 2 営業時間・・・午前8時45分から午後5時45分までとする。
- 3 サービス提供時間・・・午前9時30分から午後4時45分までとする。（送迎時間除く）

（利用定員）

第6条 事業所の利用定員は20名とする。

(通所型サービスの内容及び利用料、その他の費用)

第7条 介護内容は、生活指導、日常動作訓練、養護、健康チェック、送迎、入浴、食事サービスを行う。

- 2 通所型サービスを提供した場合の利用料は東金市が定める基準によるものとし、指定当該通所介護が法定代理受領サービスであるときは、自己負担割合に応じ、1割・2割・3割とする。
- 3 法定代理受領サービスに該当しない通所型サービスを提供する場合に、利用から受ける利用料の額と、東金市が定める基準により算定した費用との間に差額が生じないようにする。

※詳細は別紙参照

- 4 前項のほか、次に掲げる費用を徴収する。
 - ①通常の事業の営業時間外の利用については、別に定める料金表(1)によるものとする。
 - ②食費 実費相当
 - ③オムツ代 別に定める料金表(2)
 - ④前条に掲げる介護以外のサービス利用に係る費用は、別途徴収するものとする。
- 5 前項に費用の額に係るサービスの提供に当たっては、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で支払いの同意を得る旨の文書に署名(記名押印)を受ける事とする。

(事業の実施区域)

第8条 通常の事業の実施区域は、次の通りとする。

東金市全域とする。

(サービス利用に当たっての留意事項)

第9条 利用者は、他の利用者が適切なサービスの提供を受けるための権利、機会等を侵害してはならない。

- 2 利用者は、事業所の設備・備品等の使用に当たっては、本来の用法に従い使用する事とし、これに反した使用により事業所に損害が生じた場合は、賠償するものとする。
- 3 事業所は、利用者の重大な過失により、利用者の身体等に被った損害に対しては、賠償を免じることができるものとする。
- 4 その他この規定に定めるものの他、サービスの利用に関する事項については、契約書及び重要事項説明書に明記し、利用者に説明するものとする。

(苦情処理)

第10条 利用者からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、苦情受付窓口を設置するなどの必要な措置を講じる。

- 2 提供するサービス等に関して、市町村からの文章の提出・掲示を求め、または市町村職員からの質問・照会に応じ、利用者からの苦情に関する調査に協力する。
市町村から指導または助言を得た場合は、それに従い、必要な改善を行う。
- 3 サービスに関する利用者からの苦情に関して、千葉県国民健康保険団体連合会の調査に協力するとともに、千葉県国民健康団体連合会からの指導または助言を得た場合は、それに従い、必要な改善を行う。

(緊急時等における対応方法)

第11条 利用者の病変、その他緊急事態が生じた場合は、速やかに主治医又は協力医療機関への連絡を行う等、必要な措置を講じる。

(事故発生時の対応)

第 12 条 サービスの提供により事故が発生した場合には、速やかに市町村、家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じる。

- 2 サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行う。
但し、事業所の責に帰すべからざる事由による場合は、この限りではない。

(非常災害対応)

第 13 条 非常災害に備えて、必要な設備を設け、防災、避難に関する計画を作成する。

- 2 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行う。

(緊急やむを得ない場合に身体拘束等を行う際の手続き)

第 14 条 事業所はサービスの提供にあたり、利用者または他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合に除き、身体拘束をその他の利用者の行動を制限する行為を行わない。

- 2 事業所は、前項の身体拘束を行う場合においては、当該事業所に設置された身体拘束廃止委員会のもと、定められた手続きにより行うものとする。

(虐待の防止のための措置に関する事項)

第 15 条 高齢者の人権意識や支援技術の向上及び、組織として、(安心・安全)な質の高い支援を提供する姿勢と、虐待防止のための措置を講じなければならない。

- (1) 運営規程への定めと職員への周知徹底。
- (2) 責任者の選任と虐待防止委員会を設置する等の体制整備。(定期的に開催する)
- (3) 倫理綱領・行動指針・掲示物記載と展示等の周知徹底。
- (4) 人権擁護、虐待防止知識や技術向上のための研修の実施。
- (5) 施設・事業所における虐待防止の責務。
- (6) 虐待の発生を確認した場合は指針に従って対応を行う。

(感染症感染防止対策事項)

第 16 条 感染症拡大防止の観点から、日頃の健康管理に留意するとともに、感染防止対策に向けた取り組みを徹底し、以下のような感染防止に向けた対策を取り込む。

- (1) 事業所における感染対策の徹底を行う。
- (2) 感染症に備えた事前準備や協力医療機関(嘱託医)との連携体制の確保。
- (3) 感染者・濃厚接触者や疑わしき者が発生した場合の取り組み。
- (4) 情報共有・報告等の速やかな実施。
- (5) 消毒や清掃等の実施。
- (6) 感染症リーダーの設置。

(その他運営についての留意事項)

第 17 条 事業所の職員は、業務上の知り得た利用者又は、その家族の秘密を漏らしてはならない。

- 2 職員であった者は、職員でなくなった後に於いても、業務上知り得た利用者又は、その家族の秘密を保持すべき旨の雇用契約とする。
- 3 この規程に定める事項の他、運営に関する重要事項は、社会福祉法人福福会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。
- 4 利用者の個人情報の保護は、個人情報保護法に基づき当事業所が得た利用者の個人情報については、当事業所での介護サービスの提供にかかる以外の利用は原則的に行わないものとし、外部への情報提供については、必要に応じて利用者またはその代理人の了承を得ることとする。
- 5 介護サービスの適正化・重点化を図ることにより、制度の安定性・持続可能性を確保する。

附則

この規程は、平成 2 8 年 8 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 元年 5 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 元年 1 0 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 3 年 6 月 1 日から施行する。

この規程は、令和 7 年 3 月 2 1 日から施行する。

《別添資料》

- (1) 通常事業の営業時間外の利用料金について
利用者の家族の都合により、デイサービス利用時間を延長した場合は別途指定
居宅サービスの介護報酬をお支払いいただきます。
- (2) おむつ代
利用者の身体の状態等により、おむつの利用が必要な場合に、事業所で用意する
ものをご利用いただく場合には実費相当お支払いいただきます。